

一般社団法人 日本小児血液・がん学会
第 38 回（平成 29 年度第 4 回）理事会議事録

日 時：平成 29 年 11 月 8 日（水） 16：00～18：00

場 所：ひめぎんホール本館 1 階多目的室 第 3 会場
愛媛県松山市道後町 2-5-1

出席者：檜山英三（理事長・第 61 回学術集会会長）

堀部敬三（副理事長）

足立壯一、天野功二、井上雅美、今泉益栄、大植孝治、大賀正一、小野 滋、上條岳彦、
上別府圭子、菊田 敦、木下義晶、副島俊典、田尻達郎、田中祐吉、西川 亮、

堀 浩樹、真部 淳（以上理事）

小林正夫、仁尾正記（以上監事）

石井榮一（第 59 回学術集会会長）

細井 創（第 60 回学術集会会長）

議 長：檜山理事長

冒頭に、本日の理事出席者数は 19 名中 19 名であり、定款施行細則第 8 条第 3 項に定める成立定足数を充たしているため、本理事会は成立することを確認し、以下の議案について逐次審議に入った。

I. 前回理事会議事録（案）の確認

議長より、前回議事録（案）が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

II. 審議事項

1. 入会申請者承認の件

真部庶務・財務委員長より、資料をもとに、正会員 13 名の入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

2. 社員総会の進行手順確認の件

議長より、社員総会の進行手順が示され、議場にて確認がなされた。

3. 小児・AYA 世代の陽子線治療に関する診療ガイドラインの件

副島理事より、標記事項に関する資料が示され、その対応について議場に意見が求められたところ、討議がなされ、診療ガイドライン委員会確認の後、学会ホームページにてパブリックコメントを募集することとなった。

4. 小児医療に携わる医師に対する緩和ケア研修会（CLIC）の会場について

大植教育・研修委員長より、資料をもとに、来年開催予定の CLIC の会場予約について、議場に意見が求められたところ、討議がなされ、以下のように対応することとなった。

・来年度は日本緩和医療学会と共催となるため、開催日程について日本緩和医療学会の合意が得られ

た後に、会場を予約することとする。

- ・参加人数が少ない場合は、がんの子どもを守る会に会議室を借りることも検討する。

5. 新規疾患登録データベースサーバー費用について

堀部学術・調査委員長より、新規疾患登録データベースサーバー費用について、初期構築費用 70 万円程度、ランニングコスト 50 万円程度発生することが報告され、議場にて討議がなされたところ、費用は必要経費ではあるが、詳細な見積書を確認した上であらためて検討することとなった。

6. 小児がんパネル開発の WG 委員選出について

議長より、標記事項について、資料をもとに説明がなされ、ゲノム医療推進 WG 委員が小児がんパネル開発 WG 委員を兼任することが提案され、議場に承認が求められたところ、討議がなされ、以下の方向性が確認された後、承認された。

- ・理事会で情報共有して、学会としての対応を検討していく。
- ・必要であれば委員を増員する。

Ⅲ. 報告事項

1. 庶務報告

真部庶務・財務委員長より、現在の会員状況について、資料をもとに報告がなされた。

2. 研究審査委員会報告

上條研究審査委員長より、資料をもとに、研究審査状況が報告された。

議場より、申請されている研究について、学会の委員会活動として申請すべきではないか、との意見がなされたところ、すでにその旨を委員会から研究代表者へ伝えていることが報告された。

3. 学術・調査委員会

堀部学術・調査委員長より、日本血液学会の血液腫瘍疾患名改訂に合わせて、本会疾患登録の疾患名も改訂することが報告された。

また、血液腫瘍疾患の登録が固形腫瘍疾患登録に紛れていることが判明したため、正しく登録するように周知することと、今後の対応を検討していることが報告された。

4. 第 59 回日本小児血液・がん学会学術集会

石井会長より、今回の学術集会抄録集送付に際して住所不明者が多かったため、年一回会員の住所変更を促すよう連絡すべきであるとの意見がなされた。

5. 日本血栓止血学会ジョイントシンポジウム要望の件

大賀理事より、日本血栓止血学会よりジョイントシンポジウムの要望があったことが説明され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

また、他学会とのジョイントシンポジウムを管轄する委員会について、討議がなされたところ、本会学術集会に他学会を招いてジョイントシンポジウムを開催する場合は、学術集会プログラム委員会にて、その人選を検討することとし、他学会学術集会にてジョイントシンポジウムが開催される場合

は、疾患委員会にて、その人選を検討することとなった。

6. 第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会

堀国際委員長より、皇室のご招待について検討中であることが報告された。

細井次期会長より、進行予定について検討中であることが報告された。

7. 平成 29 年度公益信託日本白血病研究基金臨床医学特別賞について

議長より、本会より推薦した望月一弘先生が、日本白血病研究基金臨床医学特別賞を受賞されたことが報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。